

tokyo-emacs





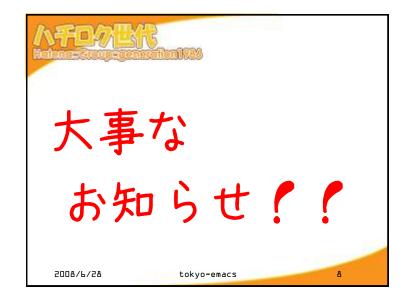
5009/6/59







2008/6/28



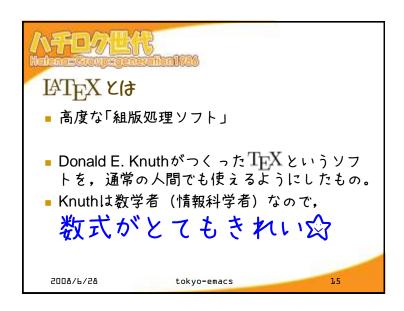




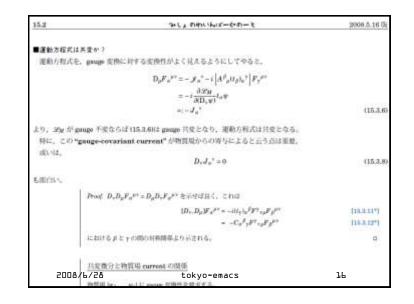












#### 共変微分と物質場 current の関係

物質場  $\{\psi_1,...,\psi_I\}$  に gauge 変換性を要求する。

→ Gauge 場 A を接続と考え、共変な微分を定義した。

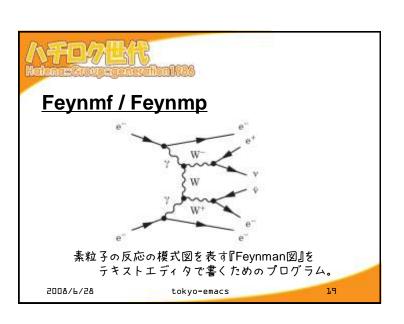
このときFは gauge 共変である。

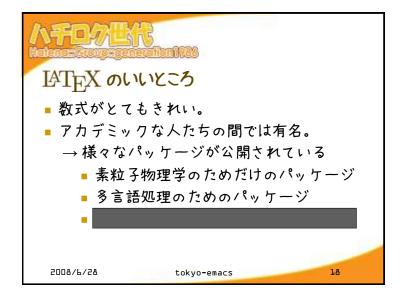
- $\rightarrow$  DF は gauge 変換に対して「良い」変換をする。  $\rightarrow$  DF = -J
- → 或いは、Dと∂との違い (剰余項)を右辺に持ってくることでよって当然ながら、Jは良い変換をし、一方 ƒの変換性は奇妙になる
  - もう少し幾何学的な立場から見るならば、(微分幾何はよくわかって  $D \rightarrow 8$ 様体  $M(\epsilon \mathbb{R}^n)$  上の微分、 $\partial \rightarrow \mathbb{R}^n$  上の微分、と見ることに
  - $\rightarrow J$ は M 上の current,  $\mathcal{J}$ は  $\mathbb{R}^n$  上の current, とみなすことが
  - $\rightarrow$  特に M は曲がる前の R''' と同じ性質を持っているとする
    - → Jが gauge 場の無い場合の current と一致することも理解

5009/6/59

tokyo-emacs

17







## 八千旦分型代

### IATEX のいいところ

- 数式がとてもきれい。
- アカデミックな人たちの間では有名。
  - →様々なパッケージが公開されている
    - 素粒子物理学のためだけのパッケージ
    - 多言語処理のためのパッケージ
    - Emacsで編集するための el ファイル群

5009/6/59

tokyo-emacs

21



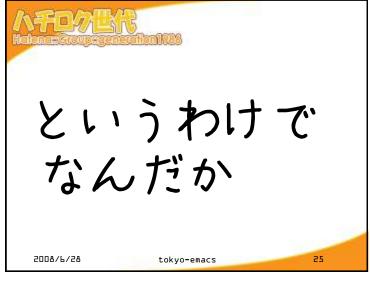
# AFDAEA

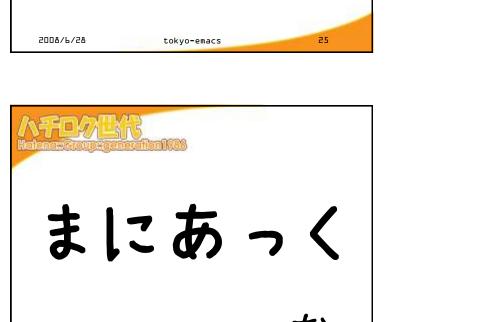
### IATEX のわるいところ

- 導入がめんどい
- 設定がめんどい
- 慣れるまでがめんどい
- 書くのがめんどい
  - → 補助ツールが不可欠!
    - yatex.el
- reftex.el

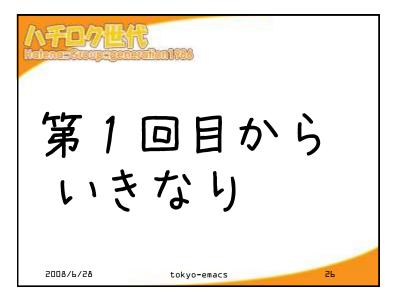
23

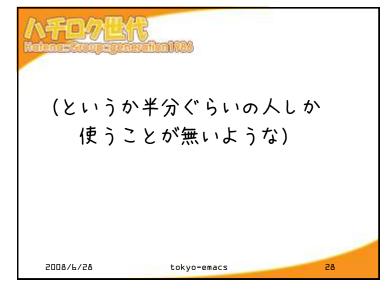
### S. Iwamoto / Misho





tokyo-emacs





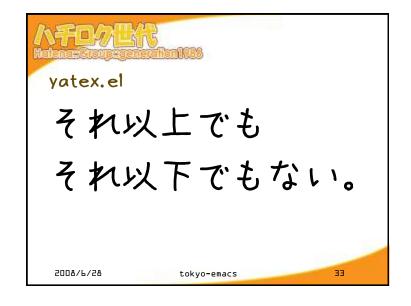
5009/6/59

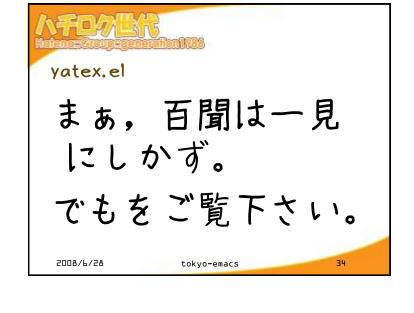


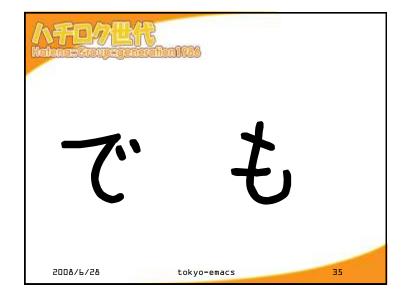










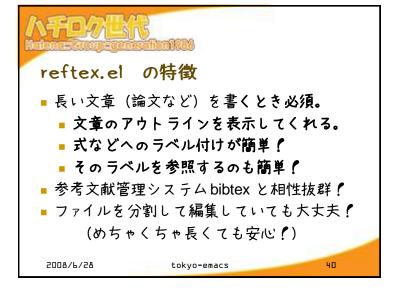








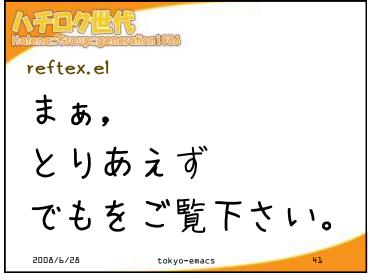




reftex.el

ね?

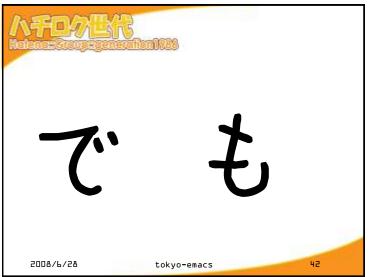
5009/6/59



tokyo-emacs



43







- ① LATEX すげぇ。
- ② yatex.el便利。
- ③ 長文書くなら reftex.el。

2008/6/28

-emacs





